

みでの

永平寺町議会
だより



第61号 INDEX

令和3年2月5日発行

- 議会と語ろう会
【ダイジェスト版】 P2~3
- 新年議長挨拶 P4
- そこが聞きたい!
議員12人が一般質問 P13~19



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会 検索



九頭竜川鳴鹿大堰
写真提供 平林 甚一さん

《今後の幼稚園・幼稚園について語ろう》

意見 今後子どもが減少した場合でも、園には最低40人の園児が必要。子どもの減少は保護者の減少にもつながり、園の各種行事運営にも支障をきたす。新しい園、人気園に園児を偏らせるのではなく、松岡地区の子どもの人数から定員割合を出して園運営が持続可能な形で取り組んで欲しい。

【松岡東地区 松岡公民館】

議会 地域で地域の子どもの見ることが望ましい。東幼稚園に令和4年度から0歳児保育を実施することになりプラスになる。駐車場などの利便性も改善された。また、入園希望はこれまで通り町が調整する。新しい園が出来てもバランスは必要。新しい園の規模は当初150人定員の予定だったが、議会要望で120人定員となった。

問 松岡地区が6園から5園にすることについて、松岡幼稚園の園庭の話があり当初の6園から再編で削減する流れになったのか。松岡地区の園児数は減少しないという予測の中で施設を減らすというのはどうか。

【松岡西地区 松岡公民館】

議会 今後の園児数がどうなっていくかの予測と、老朽化している施設が多くある中で、子どもたちの健やかな成長を目指すための保育環境をどうするかについて検討委員会から適正配置、適正人数の答申を受けた。それに基づき今後10年をかけて再編していこうという計画である。

問 民間園の良い取り組みが公立園にも波及させ、プラスになるようにしてほしい。

【松岡清流地区 ふるさと学習館】

議会 民間園の園長も本町の園長会に加わって、情報交換をすると町は言っているので、プラスになるよう求めていきたい。募集要項にご意見を反映できるよう求めていく。

問 公立と民間では保育士の体制はどうなっているのか。 【松岡吉野地区 ざおう荘】

議会 公立園は主任保育士が担任を持っている。民間は、主任保育士は担任をもち、手薄なところをフォローできる。事務員もいる。公立園もちゃんと決まりに従い配置されているので目が行き届かないわけではない。



ダイジェスト版

議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

町内9会場で開催し、3日間で延べ52人の方が会場に足を運んでくださいました。

町民からの質問・要望等への回答

令和2年10月21日22日23日 実施

「今後の幼稚園・幼稚園について語ろう」 「新型コロナウイルスについて語ろう」

意見 御陵地区には直接関係ないが、私の孫も民間園に行っているが問題ないので、町でも民間の認定こども園をぜひ進めて欲しい。お寺が運営している保育園もいいと聞いている。

【松岡御陵地区 農業構造改善センター】

議会 町の募集要項では、宗教法人は入っておらず、学校法人と社会福祉法人としている。

意見 議会でも賛否両論あるだろう。永平寺地区の再編は今はないと思っているが、再編のメリット、デメリットを、きちんと示すべきだ。 【永平寺中地区 開発センター】

議会 議会でも賛否はある。施設の老朽化の中で、財政的にメリットもあるが、子どもにとって、地域にとってどうなるのかという点からも、進め方は早すぎる。子どもの数もあり早いかも知れないが、仕方がない。永平寺地区の3園が1園になる案は示されている。

問 なぜ、国の指針を採用する必要があるのか。永平寺町は永平寺町の方針で進めればよい。減らすのは良くない。コロナもありリスクを細分化する時代に入ってきている。これからは何かあるかわからない。再編計画はこれからの時代に合っていないのではないか。

【永平寺南地区 志比南小学校】

議会 国の再編と民営化の方針に乗っかっている部分もあるように思う。1人ひとりの子どもに対して望ましい教育環境がどのようなものかという視点で平成30年に検討委員会が進められてきた。決して少子化の人数だけに着目したものではない。

問 幼稚園の話は小学校の統廃合の布石と思えばいいのか。 【永平寺北地区 志比北公民館】

議会 子育て支援課からは学校と幼稚園の統廃合は別といわれている。学校教育のあり方検討委員会は立ち上がっているが、まだ具体的な内容は聞いていない。答申に向けての検討委員会の審議を注視していく。

問 この語り合の議題は決定事項と思うが、述べた意見は反映されるのか。

【上志比地区 サンサンホール】

議会 決定していることは6園を5園にすること、木ノ下地区に私立認定こども園を新設。意見は反映したい。町民の意見を聞かないといけませんが、コロナで開けなかったため、今回町民の皆さんの意見を聞き、伝える。



松岡東地区 松岡公民館

《新型コロナウイルスについて語ろう》

問 いろいろ対策をやっているが、町の財政は大丈夫か。“不要な支出を削るとは？”

【永平寺中地区 開発センター】

議会 イベントや視察研修費など、使わないものは削っている。町の財政は、国からの臨時交付金をいただいているので大丈夫。町のコロナの取り組みは、さらに加わると思う。

問 町内商工業者の収入は減ると思うが、町の収入、財源はどれくらい減るのか試算できているか。 【松岡吉野地区 ざおう荘】

議会 9月補正予算のときに減収分として1億2千万見込んでいるという説明があった。リーマンショックの時と比較すると金融機関に打撃があったわけではないので、融資をしっかりとって事業者に体力を取り戻してもらうことが可能である。

問 公民館の飲食について、今はお茶などを飲むのはいいが、お菓子やご飯などは禁止されている。公民館を利用している人は、終わってからのお茶菓子などを食べ話の楽しみに行っている人もいるので、緩和できないか。

【松岡御陵地区 農業構造改善センター】

議会 会食などの基準はいろいろ言われている中、それに沿って対応するべき。

問 サロン事業で公民館をお借りしているが、参加者の体温を測る体温計を常設してほしい。

【松岡清流地区 ふるさと学習館】

議会 町に要望する。

問 町民テレワークスペースの提供とはどういうものか。 【永平寺北地区 志比北公民館】

議会 四季の森文化館をテレワークスペースにする。企業向けのサテライトオフィス*1スペースと、町民向けのテレワークスペースを用意する。(※1 勤務者が遠隔勤務できるよう通信設備を整えたオフィス)

《その他》

要望 子どもたちが通学に使用している自動走行は速度が遅い。音がしないため歩いていて後ろから来てもわからない。何か工夫してほしい。 【永平寺南地区 志比南小学校】

議会 道路交通法のなかで道路が交差している場合は有人でなければならないが、荒谷から志比までは無人で実用化できる。また速度については時速19kmまでしか出せない。音については対策をとるよう伝える。

要望 宅地造成第2弾、第3弾は。大野島、市右工門島など人口増えればと思うが。

【上志比地区 サンサンホール】

議会 大規模なものはないが、数戸分空いたら進めるのが町の方針。地域の方の協力が必要。

新年挨拶



永平寺町議会議長

奥野 正司

新年明けましておめでとうございませう。皆様には、ご健康にて新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年中は、町議会活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、23年春の北陸新幹線敦賀開業に向け、新幹線停車駅となる県内4駅の駅舎や駅前開発工事が本格化するものご期待を、また、オリンピック開催や中部縦貫自動車道の県内工事の進捗もあり、県内経済の活性化や、国内外からの観光入込客の激増も期待しました。ところが、2月初めの横浜クルーズ船の新型コロナウイルス感染以来、コロナに明けコロナに暮れた1年となりました。経済も変動を来し、国債発行による給付金や補助金等の公的支援によりようやく地域経済は息をつなぐ状況です。永平寺町では、行政が国・県から情報収集に努め、迅速に庁内対策会議を開き、町内各事業者団体や福祉事業者からの情報も収集し、速やかに町内の実情を反映した感染防止対策や事業者・生活者支援の施策に結実しました。議会も臨時会開催や迅速な議会議決で行政に伝え、コロナ対策の徹底や、生活者支援、町内各事業者支援策の実施に協働しました。この新型コロナウイルス禍を克服し、結果が出た本町人口の社会動態プラスの趨勢をより確かにするために、議会は行政と力を合わせ取り組みます。今後とも議会へのご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本年が皆様に実り多い年でありませうとお祈り申し上げます。

令和2年 第6回臨時会報告

議長 奥野 正司

令和2年第6回永平寺町議会臨時会は、11月24日（火）の1日間で開催されました。審議された内容は次の通りです。

令和2年度一般会計補正予算審議報告

一般会計補正予算

総額 **670**万円

【主な項目】 幼稚園・幼稚園リフレッシュ事業

御陵幼稚園、志比南幼稚園の天井修繕



627万

町立在宅訪問診療所特別会計

町立在宅訪問診療所施設管理費

143万円



主な質疑応答

◆承認第20号

問 結構新しい御陵幼稚園でも当時の設置基準を満たしていない問題があるのならその状況を管理監督したところへ報告書を示して行政の役割を果たすべきでは。
答 当時の施工業者あるいは管理業者についても調べて厳格に対応する。また、他の園についてもしっかりと調査して対応する。

◆議案第55号

問 御陵幼稚園が大きな補修になっていた。点検が完了していない残り10ヶ園の今後の見通しは。
答 残り10園の調査は、天井の点検口設置工事を追加し調査する。補修工事が必要であれば今後補正で対応していく。
問 期末手当0.05ヶ月の減額は次年度以降も続くということか。このような形で期末手当の引き下げが次年度以降にも続くと言う事がこれまでもあったのか。
答 今回は1年分を12月にまとめた形になっているが、来年度以降は標準化するようにと人事院勧告から指示が出てくる。また、固定すると言う事ではなく、来年度以降の対応について条例で支給割合を決めたと言うことである。

令和2年 第5回臨時会報告

議長 奥野 正司

令和2年第5回永平寺町議会臨時会は、10月29日（木）の1日間で開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第5回臨時会議案

承認第18号	令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 農業集落排水事業特別会計への繰出金435万6千円を増額	承認
承認第19号	令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算の専決処分の承認について 上志比地区において：2件の宅地造成に伴う公共樹設置及び本管の延長工事のため	承認
議案第36号	令和元年度一般会計及び特別会計の決算認定について 詳細はP12にて	認定
議案第37号	令和元年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について	認定
議案第51号	令和2年度一般会計補正予算について 主に小中学校での教育用タブレットの整備に関してその費用1,050万8千円の計上	可決
議案第52号	有償旅客自動車運送事業の実施及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について 自動走行運賃は 大人100円 小中学生 50円とする	可決
議案第53号	上志比支所新築工事の請負変更契約締結について 増額工事で422万9千5百円の増額変更	可決
議案第54号	和解することについて	可決

議案への賛否討論

議案第55号
一般職の職員の給与に関する条例及び特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成討論

この条例改正は、人事院勧告による改正であり、職員の間で、来年度の人事院の判断が出るまで未定であり、今回の改正に賛成する。

江守 勲

反対討論

人事院勧告に基づいた公務員給与の引き下げとなつては、働く人の実質賃金は10年以上、下がりが続いている。さらに恒常的に給与を引き下げる条例内容となつていくことから反対する。

金元 直栄

第6回臨時会議案

承認第20号	令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第55号	一般職の職員の給与に関する条例及び特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第21号	令和2年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第56号	損害賠償の額を定めることについて	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席）※議長（奥野正司）は採決に加わりません

議案第55号	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等3件については全員賛成です。

令和2年 第7回定例会報告

令和2年第7回永平寺町議会定例会は、12月2日（水）から12月16日（水）まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

令和2年度一般会計補正予算審議報告

一般会計補正予算

総額 **1億1,542万円**

【主な項目】

総務管理費



IT環境整備事業 546万
備品購入費(タブレット) 533万

コロナ

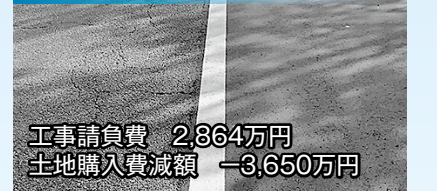
社会福祉総務費



福祉施設等支援金 710万

コロナ

道路新設改良費



工事請負費 2,864万円
土地購入費減額 -3,650万円

コロナ

浄法寺郵便局マルチコピー設置に係る戸籍住民基本台帳費 605万円
子ども見守り宅食支援事業補助金 57万円
教育コンピューター整備事業GIGAスクール構想 小学校費 2,191万円 中学校費 1,179万円
越前加賀インバウンド推進機構負担金 -473万円
九頭竜フェスティバル実行委員会補助金 -650万円

道路橋梁総務諸経費県営道路整備事業負担金等 3,161万円
心身障がい者福祉費障がい児支援事業増額 789万円
幼稚園・幼稚園吊り天井点検調査等業務委託料 562万円

国民健康保険事業特別会計
一般被保険者高額療養費増額

2,400万円

介護保険特別会計
システム改修による広域圏負担金

405万円

下水道事業特別会計

公共樹設置工事 **149万円**
下水道管布設工事 **173万円**

補正予算主な質疑応答

一般会計補正予算 第1審議

◆総合政策課

問 タブレット導入について記録の保存・廃棄、情報公開等の文書管理に不安。端末の使用期間、更新は。

答 各課に文書管理責任者がおり、年に1度廃棄するしないを決めている。電子決裁が行われた文書は年度ごとに保存され、検索して取り出すことができ。紙文書は書庫に保管。文書管理規定に従い、永久保存・10年・5年・3年と振り分けしている。端末はできるだけ長く使いたい、セキュリティの問題もあり、今後5年毎に一括更新など協議する。

◆福祉保健課

問 子ども見守り宅食支援事業は委託か補助か。国庫補助金10/10で1団体につき831万が基準額だが、今回57万円で、今後残り検討しているか。対象となる児童を把握する協議会はあるのか。社協の対象児童の基準は。ひとり親家族、共働き核家族、コロナ禍で苦しむ飲食事業者の子育て世帯を助けるためにも、例えば近助メシ協議会などのお弁当チケットを配布しては。

答 社協やNPOに補助行う。

◆住民生活課

問 浄法寺郵便局へのマルチコピー機設置について、コンビニがない地域はほかにもあるが、今後の展開は。マイナンバーカードはまだあまり普及してないが早急ではないか。

答 町内全体のコピー機分布のバランスを見て、志比北の設置を考えた。マイナンバーカードの普及率は昨年13%から現在26%まで急激な伸び。合わせて環境整備も進めていく。コロナ禍で役場窓口業務の密も避けた。

今年度残り1月～3月分の計上になるため57万となった。当町にも協議会は活動しているが、今回の事業は本来の子ども食堂や子ども宅食より、コロナ禍の支援として幅広い活動を支援したい。国の目的は地域社会から孤立しがちな子育て家庭の見守り強化。具体的基準については要綱作成の中で定める。次年度以降継続もあると思われるので、新しく手を挙げてくれる事業者があれば町としても支援したい。

◆子育て支援課

問 吊り天井問題はもっと早く気付けなかったか。園だけでなく、その他、小中学校など全ての公共施設の点検は。今回の点検後、工事はいづから。令和5年に閉園となる松岡幼稚園・松岡西幼児園も修理は行つたか。

災害

答 H28年度長寿命化計画段階では調査項目になっておらず、令和元年改定の建築設計基準書に合わせて今回調査したい。来年度全ての公共施設の点検を行う。工事については急ぐものは補正対応、その他長寿命化計画に組み込めるものは一部計画の見直しを行う。

見直しを行う。子どもの安全のため松岡幼稚園・松岡西幼児園もしっかりと修理行う。

◆建設課

問 永平寺インター線、事業の進捗状況は。用地交渉行えなかつた詳細と、今後の見通しは。H31年には必要性や交通量が議論になっていた。周辺開発明確にという提言も議会から行っているが、道路の有効性について行政の考えは。

答 年度内に同意取れず、今から契約を結んでも若干期間が足りないため、用地買収費用を補修費に回した。今後の見通しとしては、地元東古市の長年の希望であり、なんと少しでも根気よく交渉続け、来年度には契約を思っている。道路の必要性についてはまちづくり研究会で協議したい。交通量調査はコロナ禍で延期している。線路があることが見えない交通の壁となっていることを解消したい。改めて事業が必要となった経緯を全協で説明したい。

議案への賛否討論

議案第63号

町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

反対討論

金元 直栄

この条例は、ビラの発行は良いが、証紙が必要と自由でないこと。さらに法では、ただでさえ立候補者が少ないというのに、立候補時に供託金が必要とハードルをさらに高くすることは認められない。

賛成討論

酒井 秀和

本件は令和2年6月12日に公布、同年12月12日から施行されることになった。全国的に見ても8割が条例を制定済みである。近年では議員定数割れやなり手不足が問題となっているが、証紙を貼る事や供託金の導入が立候補へのハードルを高めることや投票率の減少に当てはまると思わない。

発議第5号

防災減災、国土強靱化対策の推進及び強化を求める意見書の提出について

反対討論

金元 直栄

コロナ対策で大変な時に、公共事業の予算を特定財源として確保するというのは問題だ。今はコロナ対策こそ最重点で医療への支援等、大幅

賛成討論

川崎 直文

「5か年加速化対策」として閣議決定されている防災・減災、国土強靱化を強力に進めなければならぬ。また、新型コロナウイルス感染拡大からの地域経済の早期復興のため、公共事業を含めた経済対策が求められる。

反対討論

滝波登喜男

町の経済効果的なものは、中部縦貫道や新幹線整備よりも、身近な道路や河川の整備である。ましてや、コロナ禍の中でその対策に国や地方の財政は厳しい状況だ。今、この意見書を提出するタイミングではない。

賛成討論

中村勘太郎

国土強靱化5ヶ年計画は、地震や津波などの自然災害に強い国土づくりを目指す基本的な政策で、国土交通省・文部科学省・気象庁・環境省・経済産業省など、現在進められている主な事業をはじめ、日本国民の安全・安心を安定的かつ継続的に執行する予算の確保は必要不可欠である。

令和2年度事務事業検証に係る提言書を 新年度当初予算に向けて提出

- 住まいの定住支援事業**
 1. 人口増加策として重要な施策であるため、目標および予算の設定については、具体的な施策および効果的な支援制度を軸に高い設定を設け貪欲に取り組みたい。
- 住宅支援事業**
 1. 空き家を活用するため、空き家等無料相談会の対象を当事者と近隣住民へ範囲拡大するなど、積極的かつ能動的な働きかけを行い実績に繋げたい。
- スタートアップ創業支援事業**
 1. 創業および起業意欲の促進を図るため、町内空き家および町内自営業者の状況を把握し、依頼者のニーズに合わせた提案が速やかに行える環境を整備することで実績に繋げたい。
- IoT推進事業**
 1. 次年度は具体的なIoT導入の実行、新サービスの創出の実現を目標に設定し、取り組むこと。
- 四季の森文化館・T環境整備**
 1. 需要に合ったT環境を整備し、ビジネス拠点としての利用を開始し、さらに増設、拡大を進めたい。

- 町立在宅訪問診療所の運営**
 1. 当初の計画どおり3年を目途に安定経営ができることを希望。
 2. 地域医療の重要性や今後課題となる訪問診療（地域住宅医療）の啓発活動を積極的に進めたい。
- 町民の健康づくり**
 1. 当初の計画どおり3年を目途に安定経営ができることを希望。
 2. 地域医療の重要性や今後課題となる訪問診療（地域住宅医療）の啓発活動を積極的に進めたい。

- ごみの軽量化と、生ごみ処理**
 1. 段ボールコンポストは費用も低廉で手軽に取り組み、可燃ごみ軽量化に有益な事業であると思うが、今年度は、コロナ禍で事業が進まなかった。来年度は早い時期から講習会や動画発信などを行い、体験希望者を募って実施すること。
 2. 体験希望者はモニター制または、モデル地区などとし、その経過や成果、体験者の感想などを取りまとめ、広く発信し、次のユーザーの掘り起こし、事業拡大に努めること。
 3. 段ボールコンポストでできた肥料の処理方法として、プランターでの野菜づくりをセットにした取り組みなどで市街地住民にも事業拡大すること。
 4. 雑紙は現在の可燃ゴミに占める割合は相当大きいと思われる。それを資源化することで可燃ごみの減量化が図られ期待できる。回収量は徐々に伸びているが、更なる本事業の趣旨や対象となる品目等を、広報やチラシ、推進員さんの協力を
- ごみの分別と資源化**
 1. 診療所や医療機関と連携し、地域に向き町民の健康意識向上を図ること。
 2. 町民の健康づくりのため、現在喜ばれている連絡会、相談会が出来る体制づくり（行政、住民、医療、介護）の構築に努められること。
 3. 町立在宅訪問診療所として、町の福祉（福祉、介護等）の各種計画づくりへの関わりを位置づけるよう、運営の契約内容を検討されることを希望する。



議会提言書を町長に提出

令和3年度の施策について 永平寺町商工会と協議する

総務産業建設常任委員会 委員長 酒井 秀和

11月11日および12月15日に開催し、次の内容について意見交換した。

- ①年間テーマについて
 - 議会と防災対応**
 - ・吉野・坂上地区自主防災組織連絡協議会防災訓練視察について
 - ・年間4回の議会防災訓練の実施について



自主防災訓練

【主な意見】
意見交換会を開催するにあたり、要点を絞って令和3年度の事業に活かせるよう取り組みたい。

- ②事務事業検証提言のまとめについて
提言内容を取りまとめ提出した。
- ③その他協議内容
 - ・12月定例会に協議する意見書及び請願について

「防災・減災、国土強靱化対策」と地方創生に向けた社会資本整備の推進及び強化を求める意見書の提出について委員長の議員発議とした。また、請願2件についても意見交換を行った。

コロナ禍の町内視察による 課題抽出及び協議

教育民生常任委員会 委員長 金元 直栄

当委員会は10月5日、28日、11月10日、12月15日、全員の参加で開催された。

- ①事務事業検証
 - 10月11日に提言内容を取りまとめ提出した。
- ②年間テーマ
 - コロナ対策と住民生活について**
当会はコロナ禍での町民の生活調査として、11月18日に町社会福祉協議会と松岡中学校を訪問。同20日には事務事業検証課題の文化財保護に関し、四季の森文化館へ視察や懇談を行った。



松岡中学校視察

この関係で町当局から、教育長、福祉保健課長、学校教育課長、生涯学習課長の出席を求め、視察時の課題について質問した。

今回の視察と懇談は、コロナ禍での各々の対応や課題も示され、また町の考えなど聞ける機会となった。

- ③付託案件の審議
請願第4号
75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書

【賛成意見】

- ・2割負担になると医者にかかりづらくなる。生活できるのか。
- ・コロナ禍の今が引き上げのタイミングか。
- ・消費税の導入や引き上げは、高齢化社会の社会保障を守るためでは。

【反対意見】

- ・75歳以上の医療費は現役世代も負担している。
- ・世代別で考えも異なる。等賛成4反対2で採択され、本会議に提案することとした。

(P8～P9参照)

令和元年度 決算審議 新年度予算(令和3年度)に反映を

令和元年度決算認定に係る提言

- パブリックコメント制度が有効におこなわれていない。SNS等を使っての情報発信、関連する団体、組織への働きかけ等の運営面での改善を図ること。
- 空き家等解体及び撤去について、空き家の荒廃状況の調査を徹底し、より積極的な管理指導のもと適切に実行すること。
- 実証実験が行われてきた自動走行の実用化にあたっては、地域の新たな交通手段、観光誘客として持続できる運行、運用を確立すること。
- 特定健診を効果的な取り組みにするためにも、先ず医療費の分析を行うこと。
- プレミアム商品券事業本来の目的が達せられるためにも、さらに強く国に進言していただきたい。
- 親子でふれあい子育て支援事業を拡充すること。
- 介護保険特別会計の普通徴収の滞納処理について、債権管理室は取り組みの状況、内容を議会に定期的に報告し、状況の可視化をすること。
- ブロック塀等の安全対策事業については、国における事業化もあることから、定期に取り組みの状況を報告すること。

予算決算常任委員会 委員長 伊藤 博夫
付託された決算審議は9月30日、現地視察(予算執行状況確認)から10月20日までの計6回に渡る審査を行い決算審査結果を各課毎に指摘事項を抽出し、行政に回答を求め、さらに検討を重ね「令和元年度決算の認定にかかる提言」を提出した。

そこが聞きたい! 問&答

12月定例会 一般質問

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問 目次

松川 正樹 … 13P	中村勘太郎 … 14P	朝井征一郎 … 14P
酒井 秀和 … 15P	江守 勲 … 15P	川崎 直文 … 16P
齋藤 則男 … 16P	酒井 和美 … 17P	長岡千恵子 … 17P
上田 誠 … 18P	金元 直栄 … 18P	滝波登喜男 … 19P

問 副題は「志比谷の舞台で人々が道元になる」
自動走行は河合町政の目玉。失敗させるわけにはいかない。将来は町内の幹線にも走らせる未来志向。子どもには評判がいいが、大人には期待感がない。だからこそ心配。事務事業検証でも色々提案してきたが、自動走行成功の鍵は車中を道中を楽しめるかどうかである。

答 全国に知られるようになった。その和歌の引力を自動走行に掛け合わせてストーリーを作る。永平寺の近辺で詠んだ和歌も10首ほどある。その和歌を道元がどこでどういう情景を詠んだかを探る。道元がその瞬間どこにいたか。その同じ場所の人々は道元になれる。あるいは道元に見える。その道案内を自動走行車がお手伝いする。

問 第2回学校のあり方検討委員会に注意。
答 静かに見守つて。意見は議会代表の委員を通じて。
問 私立幼稚園が誕生するが心配もある。
答 保育以外のサービスについては業者と保護者が話し合いをして決めていく。



水墨画のような志比谷

デアをいただきながら地元の理解を確立していく。



松川 正樹 議員

議会・各委員会の議員出欠状況

令和2年10月2日 ~ 令和2年12月22日

議員名(議席番号順)	出席状況													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
出席回数	26	27	24	29	31	24	31	28	25	24	31	30	27	24
会議回数	26	27	24	29	31	24	31	28	25	24	31	30	27	24
出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
No.	日付	会議名	○	●	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○
1	10/2	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○
2	10/5	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	—
3	10/8	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○
4	10/9	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	○	○
5	10/12	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	10/13	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	10/14	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	10/19	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	10/20	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	10/28	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	—
11	10/28	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	10/29	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	10/29	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	11/6	幼・保再編検討特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	11/9	議会運営委員会	—	—	○	○	—	○	—	○	—	○	○	○
16	11/10	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	—
17	11/11	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○
18	11/16	議会・行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	11/24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	11/24	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	11/24	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	11/24	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○
23	11/30	議会広報特別委員会	○	○	—	○	—	○	—	○	—	○	○	—
24	12/2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	12/2	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	12/9	一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	12/10	一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	12/14	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	12/15	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○
30	12/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	○
31	12/16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	12/16	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	12/22	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	12/22	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○



議会広報特別委員会

問 SDGs達成への取り組みは

答 総合振興計画でSDGsのゴールを設定



川崎 直文 議員

問 ふくいSDGsパートナー」の概要と登録の状況は。

総合政策課長 SDGsの理念に沿った持続可能な地域・社会づくりの推進を目的に、県が本年の8月に「福井県SDGsパートナーシップ会議」を設立した。地方公共団体、企業、他の各団体が「ふくいSDGsパートナー」として参画。11月12日時点で、登録企業・団体数は146団体。町は11月に「ふくいSDGsパートナー」登録申請書を提出し認定待ち。

問 登録申請書のSDGs活動計画の目的、活動内容、目標はどのように設定したか。

総合政策課長 町の総合振興計画、第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略、環境基本計画等の重要施策に基づき、子育て、教育の推進、地域特性の活用、未来技術の推進、



SDGs:「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals」の略称。17のゴール(目標)で構成。

環境保全を活動計画として盛り込んだ。

問 新たな取り組みでなく、従来の計画の施策からSDGsの観点で重要施策を設定し、取り組むこととなる。重要な計画で取り組むべき。

総合政策課長 第2期の創生総合戦略ではSDGsのゴール(目標)を設定した。総合振興計画は来年度の次の5年に向けての見直し時に、SDGsのゴール(目標)を設定する。

【その他の質問】
問 コロナ禍でのイベント等の実施は。
答 令和2年度の実績状況を十分検証し、国、県の指導と各種団体との協議で決定。

問 母子を守るコロナ対策について

答 システムは加入、助成金は周知



酒井 和美 議員

問 学校・保育園・教育委員会と保健課・保健所や学校医・医師会が連携する保健管理体制構築のため町は「学校等欠席者・感染症情報システム」に加入しているか。

学校教育課長 小中学校は加入後10年ほど経過し、現在も継続しているところ。
子育て支援課長 県の教育庁や子ども家庭課から聞き取りを行い、12月の園長会においてシステムの概要について説明を行った。保健所とも情報共有でき、早期に感染症の予防対策を図れる。なるべく早く加入し活用したい。

中の働く女性をコロナから守ってほしい」という署名が3万8千集まり、厚労省に提出された。検診の母性健康管理指導事項連絡カードを労働局に提出すると、休暇取得支援助成金が勤務先に支払われる支援策がもうけられた。町内も医療機関や観光地があり、感染不安がある中働かれています。助成金の活用のため、休みやすい環境作りのため、女性・事業所への周知は。



【その他の質問】
問 四季の森文化館サテライトオフィスで登記・住所利用は可能か。
答 現状考えていなかったが調査し話を進める。

問 町財政、長期的に安心か

答 安定した財政運営を行っている



齋藤 則男 議員

問 永平寺町の財政について、長期的に安心していいの。

町の財政は、これから5年先、10年先、そしてその先においても大丈夫なのか。町民にとっては、今自分自身が住んでいるこの永平寺町、子や孫たちのためにも、いつまでも残してほしい、そんな気持ちでいっぱいではないか。

財政改革大綱実施計画や中期財政計画に基づき、財政の健全化の維持、及び事業の見直しなどの行財政改革に取り組んでいるところである。これらについては、社会情勢の変化に対応させるため、毎年、時点修正を行っている。

現在、財政健全化基準内ではあるが、将来に余裕があるというわけではないので、今後にも収支のバランスが取れた財政運営の実現を目指し、一層健全化に努めていきたい。



町長 長期的に見ると、少子・高齢化等々、いろいろな課題がある中で、職員一同頑張ってやっています。また、非常に高度化にもなってきており次の世代にもしっかりとつなげていくような精査をしていきたい。

問 新設園事業者募集要項これについて

答 住民やいろいろな人の声を反映



長岡千恵子 議員

問 松岡小学校区内の幼稚園幼児園の令和2年予定園児数は308人に対し、松岡東幼児園80人なかよし幼児園100人当初の説明では認定こども園120人の3園体制では、園児数が定員をオーバーする。また、答申書には3歳以上1クラス20人程度と明記があった。認定こども園事業者募集要項には、施設規模150人の記載のみで募集定員120人も3歳以上1クラス20人程度の記載もなかった。これまでの説明との間に乖離がある。この点について町長のお考えや思いは。

副町長 施設規模150名はピーク時の受入を考慮。1クラス20人程度は20人を超えないという意味ではなく少人数保育を解消すること。4歳児5歳児は保育士一人で30人まで保育できる。

町長 募集要項は私の思いではなく、住民の声やいろいろな人たちの声を反映している。

問 現状、松岡西幼児園の5歳児で23人が最大。この計画では幼児園の保育環境が後退する。今年は、母子健康手帳の発行件数が増加し、子どもの自然増が見込まれる。転入も増加傾向であれば、それに応じた対応が必要。松岡東幼児園は大改修ではなく100人規模に建て替えてはどうか。



町長 東幼児園は場所の問題、立地的、地勢的な問題から大改修とした。子どもが増えれば臨機応変に対応していきたい。

問 コロナ禍での災害備えの充実を

答 コロナ対応避難所運営で万全期す



上田 誠 議員

問 自然災害とコロナ感染が同時に起きる複合災害の備えは。特に避難所の充実が必要。

総務課長 全地区で自主防災組織があり、コロナ対応、消毒液配布等、注意喚起をした。広域避難所にはコロナ対応の資材の配備や運営の充実を図っている。

問 東日本震災後自力避難が難しい住民の「避難行動要支援者名簿」作成が義務となった。当町の状況活用は。総務課長 要支援者は約2700名。(800名が登録)地区で情報共有し、災害時の対応に繋げるようお願いしている。

問 近年、災害弱者(自力避難の困難者)の避難方法を決めておく



コロナ対応の避難所

く個別計画が努力義務となり福祉避難所の充実も必要となったが。総務課長 現在、福祉避難所のあり方、避難方法、計画のガイドラインを作成し、個別計画につなげる検討委員会が動き始めている。町長 新しい避難所のあり方を検討委員会と各種団体と連携し町民の生命を守るための最善策と体制を整える。

◆幸福度No1の町にする取り組みを

問 福井県は幸福度ランキング4年連続総合1位となった。県民は実感が無い。今後は住民の主観、愛情、自己実現、行動を指標とするらしい。当町の取り組みは。

福祉保健課長 地域福祉計画では人と人との繋がり。保健計画では健康づくりを取り組んでいる。生涯学習課長 地区の課題解決に向け地区振興会の支援をしている。教育長 家庭、地域、学校の連携で地域の教育力と教師の使命感と熱意で対応している。意見 人との繋がり、助け合い、世代間の交流を支える住民活動の拠点、組織が大事。

問 疲弊した事業者の実態把握を

答 活性化協議会で随時情報収集



滝波登喜男 議員

問 新型コロナは、日本のみならず世界中で震撼させている。長くないの見えない災害においては、公がどのような手助けをするかによって、助かるかどうかの分かれ道でもある。そのためにはまず、現状把握が大事。飲食や観光関連業者への影響は。

商工観光課長 応援給付金等の申請を見る

と、飲食・サービス業では4月申請34件、売上げ前年比77%減少。観光関連の門前地区では22件申請、90%減少という現状。町では商工会や金融機関、ハローワーク等で経済活性化協議会を立ち上げ、実態把握とその対応策を毎月協議している。

また、県立大学に協力を依頼し、町内全商工業者を実態調査を行う。

◆移住者獲得、今が攻め時

問 コロナ禍で在宅勤務が主流となる企業が増え、東京から地方に移住を考える方が多い。福井県の移住相談件数は全国7位で、今が攻め時だ。専門職員の配置や、空き家活用を積極的に進めたい。

町長 攻め時と思う。ワーケーションやコワーキング関係の団体などに積極的にPRしている。京都や外国の方、カヌーの世界ランカーの方も、町で活動したいと言っている。情報発信が一番のポイ

◆学生に住んでもらうために

問 東京一極集中は、若者が東京の大学に進学しそのまま就職することにある。せつかく二つの大学があるのだから、例えば麦や米と町の醸造技術を結びつけ研究する学科を作り、卒業後も住み着いてもらえるような結びつきを。



収穫前のふくこむぎ(光明寺)

問 PCRの社会的検査で安心安全を

答 有効だが検査の制度に問題あり



金元 直栄 議員

問 介護など、訪問する側も高齢者も、コロナ感染が怖いという。他市で介護職1000名のPCR検査で10人の無症状感染者が見つかった。町民の安心のために介護職や保育士など、独自の検査を定期に行うべきだ。

福祉保健課長 コロナ感染は誰もが怖い。社協や介護職が現場に行くのが怖いというが、町の窓口職員も同じだ。PCR検査は有効だと思いが、精度は7対3程度で絶対とは言えず、感染拡大地域外では費用の問題もあり、現実的ではない。

◆私立こども園運営者募集の内容の確認

問 町は再編検討委員会の答申に基づいて、幼稚園等を再編するとしてきた。募集要項としてきた。募集要項で民間園の規模は150人という。答申の3歳児クラスは20人程度という、園の定員は100人程度となる。上限は守ってもらいたい。また、松岡小校区内再

編後の幼児園定数の合計は300人と、子どもの数より少ないなど、論議は尽くされていない。

子育て支援課長 議会には新園の規模は150人程度と説明している。現状の定員は120人としているが、限定するものではない。

町長 初めは120人規模で、ただし150人規模でさせて欲しい。3年後のピークを見定めており、理解いただいていると思う。



議会活動レポート

ホームページ・facebookに随時更新中!

11/13 体育自主研究発表会

11/24 永平寺町まちづくりセミナー

12/7 上志比支所竣工式

12/22 大掃除

3月定例会 (予定)

3月1日(月)10時~ [本会議]

3月9日(火)・10日(水)・11日(木)・12日(金)・15日(月)・16日(火)9時~ [一般質問・本会議(第1審議)]

3月19日(金)・22日(月)9時~ [本会議(第2審議)]

3月23日(火)10時~ [本会議(第3審議)・採決]

3月24日(水) [予備日]

生中継 テレビ中継でご覧ください

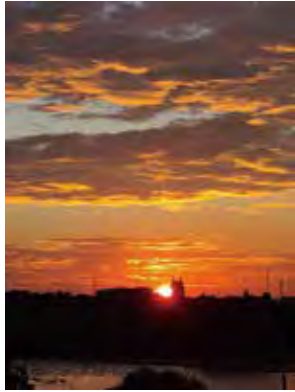
○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。
★事前申し込み不要
★バリアフリー、エレベーター完備
★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします

心繋がる永平寺町議会

お知らせ

あなたが撮った写真を
議会だよりの表紙に
しませんか？

私の永平寺町自慢を募集!



写真提供：平林 甚一さん

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵な隠れスポットをご
紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。
(議会だよりは2月・4月・7月・10月の季刊発行です。)



応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お
電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル (jpg、
4000×3000px、7 MBまで、縦長) を添付の上、下記議会事務局
のアドレスまでお送りください。3月1日締切

E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp

※お名前と撮影場所を掲載させていただきます。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60～67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただく予定です。

応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。

答える議会 議会改革レポート

ここが変わった!
議会テレビ放送!!



POINT

議会の翌々月1日より
順次放送します。

3月議会→5月1日

6月議会→8月1日

9月議会→11月1日

12月議会→2月1日

第7回定例会の放送は
令和3年2月1日より、
一般質問から順次
放送いたします。
こちら「みての!」



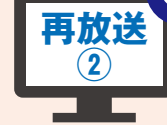
議会と語ろう会にて、議会の見えにくさについ
て様々なご意見をたまわり、このたび議会放送
の在り方について変更させていただくこととな
りました。



1日2回同じ内容を放送



朝6時



夜12時

議会中継
録画予約
しよ!!



※放送日程の詳細は、リモコンの番組表を押してご確認ください。

また今後Youtubeにて議会中継動画を配信予定です。

編集者のひと言

経世済民(世を治め民を救う)
福沢諭吉が「エコノミー」とい
う英語を和訳するとき、この中
国の古典の言葉から「経済」と
取ったそうです。それ以前は
「理財」と訳されていたそう
ですが、この「経済」が後世に定
着したのは日本人の考え方に
合っていたからではないでしょ
うか。

昨年は新型コロナウイルス感
染症拡大により、この根本的な
意味での経済ということをとて
も考えさせられました。今年の
大河ドラマはこの経世済民思想
から経済には道徳がなくてはな
らぬと唱えながら日本資本主義
の父となった渋沢栄一が主人公
だそうです。最も苦しい人を助
ける仕組みを作ることので安心し
て勤労に励むことができる社会
を目指した渋沢栄一に今年は大
くさん学ぶことになりそうで
す。(酒井和美記)

議会広報特別委員会委員

委員長 朝井 征一郎
副委員長 酒井 和美
委員 松川 正樹・上田 勲
滝波 登喜男・江守 誠
酒井 秀和

発行責任者

議長 奥野 正司